

平成27年度全国学力・学習状況調査 — 茨城町

文部科学省では、全小中学校の小学6年生の児童・中学3年生の生徒を対象に、国語と算数・数学、理科の3教科について「知識（A問題）」「活用（B問題）」に関する学力調査及び、児童・生徒の学習状況等について調査を実施しました。

- ・A問題…主として「知識」に関する問題
身に付けておかなければ後の学年等の学習に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ・B問題…主として「活用」に関する問題
知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

教科に関する調査

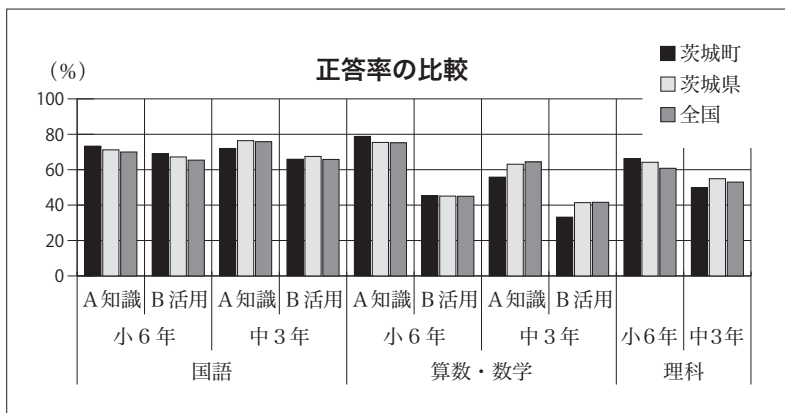
国語

1 小学校（参加児童数270名）

- ・A問題、B問題ともに全国平均・県平均を上回っています。漢字を正しく読んだり書いたりすることができる割合が高く、日常的に国語辞典や漢字辞典の利用をすることで力を付けてきていると考えられます。
- ・文章を読んで自分の考えをまとめる設問も全国平均を上回っており、日頃から「書く」活動を多く取り入れていることがよい結果につながっていると考えられます。

2 中学校（参加生徒数234名）

- ・B問題は全国平均を上回っているものの、全体的には若干下回っています。
- ・文法に関しての問題に課題があります。日常会話において、できるだけ正しい日本語を使う習慣が望まれます。



算数・数学

1 小学校

- ・A問題は全国平均を大きく上回っています。分度器で角度を測ることや時刻を求めることが正しくできることでさらに伸びます。日常生活の中で見通しをもって考える習慣を身に付けたいものです。
- ・B問題は、全体として全国平均とほぼ同じでした。日常生活のいろいろな場面で、算数で学んだ考え方を活かして、適切に判断し解決することができるようにしていきます。

2 中学校

- ・A問題、B問題ともに全国平均を下回っています。「解答時間が足りなかった」という回答が全国や県と比較して多かったことから、問題に数多く取り組む必要性が考えられます。また、記述式問題に対しても書くことをあきらめてしまう生徒が見られます。日頃から物事を効率的に処理する力を高めたり、自分の考えについて筋道を立てて考えたり、書いたりする活動を多く取り入れていきます。

理科

1 小学校

- ・全国、県平均よりも大きく上回る結果となりました。平成24年度は県平均をやや下回ったのですが、理科教諭による教科担任制を推進したり、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立て、見通しをもって取り組む学習を取り入れたりしたことにより力を付けてきました。

2 中学校

- ・全国、県平均よりも若干下回っています。授業において、「観察や実験に多く取り組んでいる」という回答であるにも関わらず、それが十分に身に付いていないと考えられます。また、問題の情報量が多いと問題を解くことを途中であきらめてしまう傾向が見られます。観察、実験後の考察や学習の振り返りを主体的に進めていく態度を育成していきます。

全体

- 町全体としては、小学校は大きく伸びてきています。しかし、中学校ではいずれの教科にも課題が多く見られます。小学校、中学校ともに主体的に学習する意欲や態度をさらに高めるとともに、中学生には「自分はどうありたいか」また「どうなりたいか」という目標をしっかりと見定め、よりよく生きるための学力（意欲・態度、知識・技能、考える力、表現する力）を身に付けることの素晴らしさを感じられるような教育を推進します。

の状況について

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

小学6年生

1 学習時間を増やしたい！

- ・国語、算数、理科ともに「勉強は好き」、「授業の内容がよくわかる」は全国を上回っています。特に算数においては、町で少人数指導を推進していることもあり、算数が好きな児童が増えています。
- ・家庭学習では、「自分で計画を立てて勉強している」は、県、全国を上回る回答でした。しかし、家庭学習の時間については、「2時間以上取り組んでいる」が17%で、全国の26%に比べてだいぶ少ない状況です。

2 自尊感情が高まってきています！

- ・朝食摂取・就寝・起床時刻の決まった児童の割合が高く、生活のリズムは比較的安定しているといえます。
- ・「学校のきまりを守る」「学校に行くのは楽しい」は全国・県を上回りました。
- ・「自分にはよいところがある」という質問では、昨年度全国を下回りましたが、**今年度は上回っています。**

3 テレビやゲームの時間を減らしたい！

- ・「1日当たり2時間以上テレビ等をみている」割合が町は69%と全国の59%を上回っています。このことは、1日当たりの勉強時間に大きく影響していると考えられます。

中学3年生

1 日々の学習の定着が課題！

- ・国語、理科について、「勉強が好き」「授業の内容がよくわかる」の割合が全国・県を上回っています。しかし、数学は、小学校と異なり下回っています。茨城町では、中学校でも少人数指導を取り入れたり、伝え合い活動で考えを共有したりすることで数学が好きな生徒を増やすように努めています。
- ・家庭学習の時間は不十分な状況です。平日2時間以上、休日3時間以上勉強する生徒は全国・県を下回っています。自分の進路実現に向け、自ら家で学習する習慣を身に付けさせたいものです。

2 規範意識の高揚と学習時間の確保

- ・朝食を毎日食べている生徒は95%で、就寝・起床は同じ時刻の生徒が多くいます。
- ・「学校に行くのが楽しい」は、全国を上回っていますが「きまりを守る」という点で下回っています。集団の中で**規範意識を高めていくことは大切なこと**であると考えます。
- ・「将来の夢や目標をもっている」「失敗を恐れずに挑戦している」「自分にはよいところがある」は、全国、県を上回る結果となり、**自尊感情を高める取り組みの成果**が出てきました。
- ・平日のテレビの視聴が3時間を超える生徒、テレビゲームなどを2時間以上する生徒の割合がともに4割を超えています。さらに、携帯電話やスマートフォンを使っている時間が2時間を超える生徒の割合が約3割を占めており、いずれも全国よりも高くなっています。

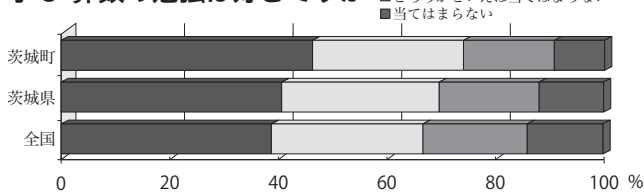
教育委員会と学校での取り組み

- 一人ひとりの学力の充実
 - ・個に応じた指導を心がけて、少人数指導や習熟度別学習をできるだけ取り入れています。
 - ・教材の工夫や課題提示を工夫し、子供たちの意欲を高める授業をしています。
 - ・一人ひとりが意欲的に学習に取り組むために、子供たちが自ら考え、活動する場面を増やしています。
- 心を育てる教育の充実
 - ・規範意識を高め、善悪の判断がしっかりでき、モラルの高い人を育てます。
 - ・自ら困難を乗り越えようとするたくましい心を育てます。

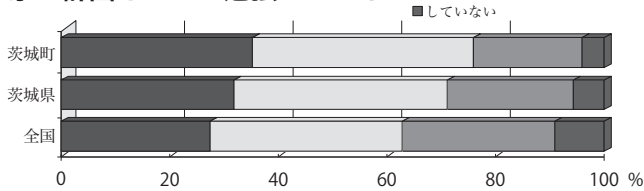
茨城町教育委員会

☎ 029-240-7121

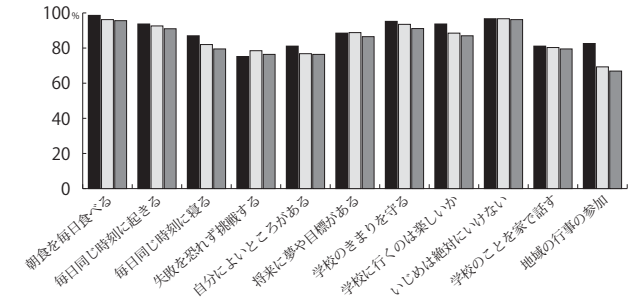
小6 算数の勉強は好きですか



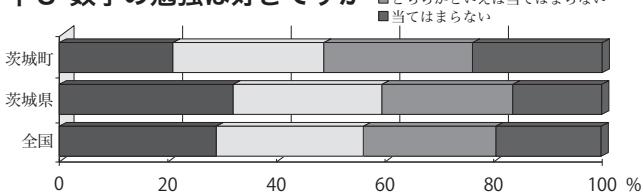
家で計画を立てて勉強している



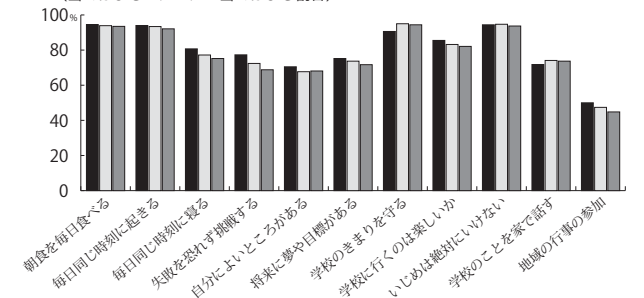
生活状況調査(抜粋)：小学校 (当てはまる・だいたい当てはまる割合)



中3 数学の勉強は好きですか



生活状況調査(抜粋)：中学校 (当てはまる・だいたい当てはまる割合)



家庭へのお願い

- ・家庭学習時間の確保をお願いします。
- ・子供たちはテレビやスマートフォンなどに多く時間を割いているようです。ご家庭での時間の使い方などについて話し合ってください。
- ・人としての在り方(規範意識、社会のマナー)を身に付ける家庭教育をお願いします。

地域へのお願い

- ・善悪をしっかりと教える地域の大人の存在が大切です。子供たちへの声かけや安全を見守る地域の環境づくりを引き続きお願いします。